

円滑な交通確保のために新しい道路を整備しました

## 重点施策と主な事業

### 防災・減災対策

- 市街地浸水対策、河川排水路等改良・補修、防災重点ため池対策など（一般会計分）17億2,797万円  
国や県などと連携し、市街地の浸水対策や河川の改修、農業用ため池のしゅんせつなどを実施
- 協働による治水対策の推進 3,879万円  
市民・地域・企業・行政が連携した、田んぼダム促進など、浸水対策のための取り組み

### 感染症対策と物価高騰対策

- 物価高騰対策等に関する給付 35億8,676万円  
物価高騰の影響を受けた子育て世帯や住民税非課税世帯を支援
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 17億3,301万円
- 学校・保育所等給食支援 2億5,922万円  
食材費等高騰の影響を受けた給食費の一部を支援



### 安心・安全のまち

- 公園長寿命化 5,589万円

### 活力のあるまち

- 中環状道路整備 3億7,185万円  
十三部とゆめタウン間の整備。令和5年3月開通
- 四季のイベント振興・まちなか賑わい創造 1億3,707万円  
まちの元気回復のために、感染症対策と両立したイベント・祭りの開催を支援

### 活き活き生活・活躍できる共生のまち

- 教育ICT活用 2億6,830万円
- 市民スポーツ推進 1,859万円  
スポーツに親しむ機会の充実を図る取り組み

### デジタル化の推進

- 行政手続き等におけるデジタル化推進 1億9,748万円
- キャッシュレス決済導入 363万円

## 特別会計決算の状況

区分	金額
国民健康保険事業	歳入 336億9,559万円
	歳出 324億1,902万円
競輪事業	歳入 280億6,077万円
	歳出 273億5,663万円
卸売市場事業	歳入 3億9,275万円
	歳出 3億7,694万円
住宅新築資金等貸付事業	歳入 4,496万円
	歳出 4,496万円
市営駐車場事業	歳入 7,367万円
	歳出 6,322万円
介護保険事業	歳入 279億880万円
	歳出 275億3,745万円
農業集落排水事業	歳入 2億7,698万円
	歳出 2億6,661万円
特定地域生活排水処理事業	歳入 1億9,657万円
	歳出 1億8,421万円
後期高齢者医療事業	歳入 47億8,979万円
	歳出 46億7,592万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	歳入 2億5,840万円
	歳出 9,461万円
産業団地整備事業	歳入 6,185万円
	歳出 6,185万円

## 公営企業会計決算の状況

区分	金額
水道事業	収益 46億1,528万円
	費用 42億2,917万円
下水道事業	収益 74億1,077万円
	費用 67億281万円

**特別会計**  
全ての事業で黒字

特別会計は、一般会計とは別に特定の事業を行うために設置した会計です。全ての会計で黒字となり、特別会計の全体収支は26億7,876万円でした。住宅新築資金等貸付事業は令和4年度で廃止し、一般会計に移行しました。

◎財政課（☎0942・30・9117、FAX0942・30・9703）

**公営企業会計**  
計画的な施設更新を実施

水道事業は、古くなった浄水施設の更新や配水管の耐震化など、安全で良質な水を供給できる体制を強化。下水道事業は、処理場やポンプ場などの長寿命化対策や、雨水貯留施設の築造などの豪雨対策に取り組みました。

◎上下水道部経理課（☎0942・30・8506、FAX0942・30・8570）

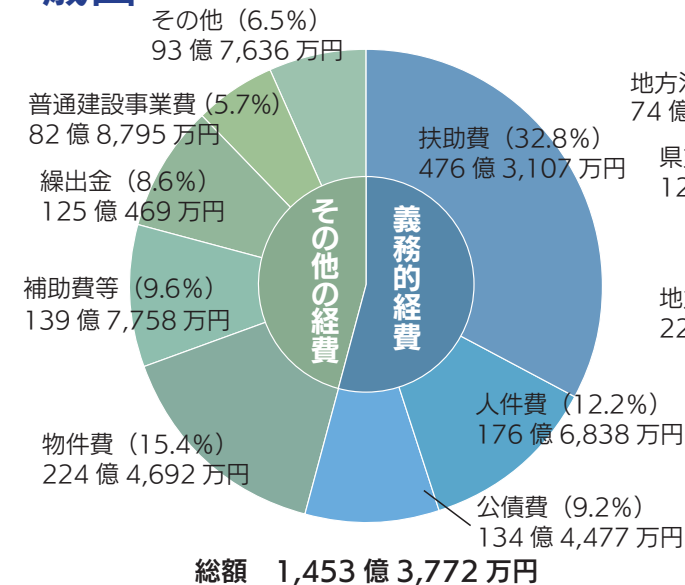


## 令和4年度決算報告

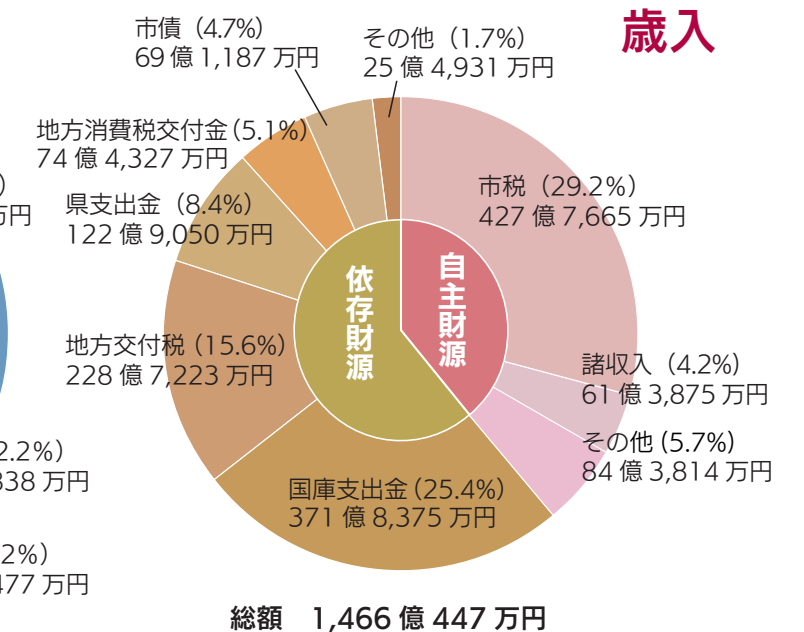
# まちを伸ばし、暮らしを守る

令和4年度の一般・特別・公営企業会計の決算議案は、10月18日に会期末を迎えた市議会で認定されました。決算状況と主な取り組みを報告します。

## 歳出



## 歳入



**一般会計**  
課題に速やかに対応

令和4年度は、近年続く大雨災害から市民の暮らしを守るための防災・減災対策やウイズコロナ・アフターコロナ社会を見据えたまちづくりに重点的に取り組みました。一方で、新型コロナウイルスの影響が続く中、物価高騰が追い打ちをかけ、市民生活や事業活動にとって厳しい状況が続きました。こうした状況に速やかに対応するため、7回の補正予算を編成しました。一般会計の歳入は、146億6,447万円、令和3年度から約12億円、7.1%の減少。歳出は、145億3,377万円、約11億3,000万円の減少となりました。歳入歳出ともに減少に転じたのは、新型コロナウイルスの影響を受けた子育て世帯や事業者への支援が前年度までにピークを越えたためです。歳入から歳出を差し引くと12億6,675万円、令和5年度への繰り越しを除いた実質収支は、8億6,969万円のプラスになりました。



水の祭典も3年ぶりに開催されました

**市債・基金の残高**

市債の残高は約131.3億円で、前年度より約61億円減少しました。新たな借入れが減少するとともに、過去に借入れられた市債の返済が進んだためです。

家庭の預貯金に当たる基金残高は、令和4年度末で約234億円。ふるさと久留米応援基金に積立を行ったこともあり、前年度から約12億円増加しました。

◎財政課（☎0942・30・9117、FAX0942・30・9703）